

解答

一

問一	1 歓声	2 侵入	3 務〔める〕	4 けはい	5 いと	6 ととの〔った〕
問二	1 賛成	2 対等	3 敏感	4 損失		

二

問一	A エ	B ア	C オ	D イ	E ウ
問二	①				

問三 刃物を必要とする心や生活が問題であり、禁止は危険な精神状態の先送りになること。

問四 少年や少女

問五 みんなと同調したり、「人間嫌い」を自覚して人付き合いをせずに生きていける道を探ったりすること。

問六 (1) 刃物の所持を禁止すること。

(2) 刃物の所持を自由にする事。

(3) 刃物を所持する必要がある状態を乗り越え、成長すること。

問七 LINEやSNSでまめにやりとりをすることが友だち付き合いであり、返事をしなかったり返事がおそかったりすると仲間はすれにされたりすること。

問八 「付き合え

三

問一	3 エ	4 イ	8 イ
問二	ア		

問三 ストレスで休職している父に、心配をかけたくないと思ったから。

問四 視線を遠い空へ向ける

問五 ウ

問六 ウ

問七 人生

問八 エ

問九 エ

問十

毎日毎日同じことをしていたら、飽きたり嫌になったりするだろうが、そんな運命を受け入れている鳥のように、自分も運命に立ち向かっていこうという決意。

解説

二

問三

筆者は「取り除くべきなのは、危険物か、それとも危険な精神状況かと考えれば、答えは明らか」と述べています。例をあげた後で、「刃物を持つ心のありようが問題なのであり、そうした感覚しか持てない彼らの生活の実感が、何よりも問題なのである」「禁止によってどうにかなるものではなく」「禁止はただの先送りにすぎない」と主張しています。

三

問十

お父さんは「そもそも鳥って・・・」で始まる言葉の中で、「毎日毎日、同じことをしてたら飽きるだろうし嫌にもなるもんだよ・・・結局みんな、その運命から逃れられないってことなのかもしれないな」と話しています。運命を受け入れ、それでも空を飛び鳥のように、自分も運命を受け入れて立ち向かっていこうという決意がうかがわれます。